

今後もしっかりとしたコロナ対策を!!

その他の
質問事項

▼ 第5次総合計画第3期中期戦略の策定について

清風クラブ
ひらま まさじ
平間 正治



◆プレミアム付商品券の 再度の発行について

問 プレミアム付きで総額13億円の発行は、市民への生活支援や飲食店を始め各事業者に波及効果があり、コロナ禍において地域経済に一定の効果をもたらしたと思う。今後第二波、第三波も懸念されることから、状況に応じて再度のプレミアム付商品券の発行が必要と思うが、市としての考えは。

答 再度の発行については、現商品券の実施期間中であり、現時点では予定していない。しかし、今後の感染状況により地域経済の停滞が再び起こることも想定されることから、関係機関等と連携を密にして必要な対策を講じていく。
(産業政策課)

◆施策立案における要望 把握について

問 事業者間の取引で使

える事業者間取引促進プレミアム商品券の発行は有難いが、券を使用して換金するという手間も生じるという意見もある。

仕入れ等への補助であれば、日頃から帳簿等の処理を行っているので、これらを参考に算出した給付金という要望もある。施策の立案に当たっては、現場の意見を十分聞くことが必要と思うが、市としての考えは。

答 事業者からの要望把握については、商工会議所などを通じて要望を把握している。今後についても引き続き関係機関と連携し、状況にあった支援策を検討していく。
(産業政策課)



事業用商品券の販売コーナー(商工会議所)

コロナ禍における 地域コミュニティ



広丘郷原区
伊佐治正幸さん

郷原分館長として2年目を迎えました。コロナ禍で、三密を楽しむ公民館活動は軒並み中止を余儀なくされていますが、各公民館では既存の活動には捕らわれない新しい取り組みが行われています。自治体や企業レベルでは、温度差はあるものの、テレワーク、オンライン教育、オンライン診療等、

リモート(遠隔)通信の活用が始まっています。郷原公民館でも、「まずはやってみよう」を合言葉に、各自がスマホから参加し、リモート会議「Zoom」を体験しながらの地区イベントを試みましたが。これを機に、スマホ機能に少しでも慣れ、遠隔地の家族とのリモート団らん等への展開も期待しています。

時代や環境が変わり、活動の形や活動手段は変わっても、笑顔にあふれた文化的な地域コミュニティを目指すことに変わりはありません。

市民の声

地区計画導入により 区の活性化を



みどり湖区
浜崎 正さん

塩尻市社会福祉センター跡地利用(みどり湖)の一環として、展望広場(木々の間からみどり湖が望める)を設置して頂きました。是非、市民の皆さんの「憩いの広場」として「花公園」「もみじ山」同様にご利用頂ければ幸いです。みどり湖区では

少子高齢化と共に「空地、空き家対策」が急務となり、市(都市計画課)の支援により「地区計画の導入」を進めています。コロナ騒動により首都圏の企業を始め、テレワーク導入により各企業の活動並びに活動拠点の変化は明白です。この機に市街化調整区域の一部規制による手続きを簡素化し、地区外からの移住や定住の促進を計る絶好のチャンスと捉え、「地区計画」の更なる推進を願っています。